

画像意匠公報検索支援ツール（Graphic Image Park）について

1. 開発の経緯

産業構造審議会知的財産分科会意匠制度小委員会報告書「創造的なデザインの権利保護による我が国企業の国際展開支援について」（平成 26 年 1 月 31 日）において、画像デザイン保護の制度の在り方については、意匠制度を支える運用面のインフラ整備も合わせて検討を進めるべきとの認識の下、そのインフラ整備の一環として、「クリアランス負担をできるだけ軽減するとの観点に立って、イメージマッチング技術を利用した登録意匠の検索システムの準備に直ちに着手し、平成 27 年度中のサービス導入を目指す」とこと及び「ユーザーからの評価を踏まえ随時改善を図る」ことが提言された。また、これらの提言に基づく対応を行うことが、知的財産分科会においても承認された（平成 26 年 2 月 24 日）。

これらを受けて、知的財産分科会による承認後、直ちに開発の準備に着手し、独立行政法人工業所有権情報・研修館（以下「INPIT」という。）のオンラインサービスとして、平成 27 年 10 月 1 日から、画像意匠公報検索支援ツール（Graphic Image Park）（以下「本ツール」という。）の提供を開始している。

従来 INPIT が提供している特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）では、テキスト検索や分類検索などの基本的な機能によって全ての公報情報を確認することができるが、本ツールでは、画像を含む登録意匠について、より簡便かつ効率的な調査手段の提供を目的に、以下の特徴を有するものとして開発を行った。

- ・蓄積対象を画像意匠分類（分類記号「W」）が付与された登録意匠のみとすることで、画像を含む意匠だけを対象とした効率的な調査を可能とすること、
- ・イメージマッチング技術を利用して、機械的な評価が高い（近い）順に蓄積画像を並べ替えることで、調査対象の画像を確認する際の効率を高めること、
- ・並べ替えられた蓄積画像全件を書誌情報と共にサムネイル表示することで、一覧性のある網羅的な調査を可能とすること、
- ・日本意匠分類や意匠に係る物品といった専門的知識によらない、比較画像のイメージファイルを入力するだけの調査を可能とすること、
- ・専門的知識を有する者には、比較画像の入力に加えて、意匠分類や意匠に係る物品などによる絞り込みを行うことで、更に効率的な調査を可能とすること。

なお、本ツールは、画像を含む登録意匠が増加している現況に鑑み、効果の高い基本的な機能に焦点をあてて開発することで、上記観点による調査環境の早期提供を図ったところであるが、利用者への意見聴取を行い、今後も継続的な改善を行っていくこととしている。

2. 本ツールのトップページと基本的な使用方法

(1) トップページ

ご利用になる前に 必ずお読みください

- このツールは、画像意匠分類 (W) が付与された登録意匠の公報と、その公報に掲載された、機器の操作画像等の画像を蓄積しています。
- ソート結果として表示されるサムネイルイメージは、機械的な照合によって入力画像に近いと評価された順に表示されるものであり、意匠法上の「類似」する意匠が必ず上位に表示されるとは限りません。
- このツールに利用者がアップロードした入力画像は、システム内に蓄積されることはありません。

お知らせ

2015年11月16日
 新たに、意匠登録第1537582号(11月09日公報発行)までの20件の公報を蓄積しました。

アンケート
 のお願い

蓄積情報
 蓄積している意匠公報の数を表示します

J-Plat Pat
 特許情報プラットフォーム

ガイドライン
 ご利用の際の留意事項やお役立ちメモを記載しております。

(2) 基本的な使用方法

1 ドラッグ&ドロップ!

2 結果を表示ボタンをクリック!

※形優先、色優先などの並べ替えモードを選択することができます。
 また「意匠に係る物品」「意匠分類」などにより、並べ替え対象を絞り込むこともできます。

3 気になるデザインを見つけたらサムネイルをクリック!

意匠公報 PDF

3. 蓄積データ

本ツールは、画像意匠分類（分類記号「W」）が付与された登録意匠の公報を蓄積対象とし、意匠公報に掲載されている図面の中から画像が現れた箇所を抽出してイメージファイルとして蓄積するとともに、その他の図や説明の記載等、公報の掲載内容を詳細に確認できるように、公報を PDF ファイル化して蓄積を行っている。

蓄積イメージ数	約 19,400 図
蓄積意匠公報数	約 4,600 件

（平成 27 年 11 月 30 日現在）

なお、新規分の登録意匠については、週次で更新（蓄積）している。

4. 周知活動及び今後の改善予定

本ツールの提供開始以降、知的財産関係団体や個別要請者を対象とした説明会の開催等を通じて、本ツールの利用に関する周知や意見交換を実施している。

説明会	16 回	参加者約 300 名
イベントへの出展	6 箇所	（特許・情報フェア&カンファレンス等）

（平成 27 年 11 月 30 日現在）

引き続き、説明会やユーザーアンケート等を通じて、本ツールの利用者からの意見や要望を聴取し、今後の改善につなげていく。

以上

画像意匠公報検索支援ツール Graphic Image Park

説明用参考資料



トップページ (<https://www.graphic-image.inpit.go.jp/>)

ヘルプデスク (受付時間: 平日 9:00-17:00)
☎ 0120-633-163
✉ E-mailでのお問い合わせはこちら

[ガイドライン](#)
[ヘルプ](#)
[JPO](#)
[INPIT](#)
[J-PlatPat](#)

画像を入力
 ファイルから選択

標準
 形
 色
 標準+90°回転
 単一部品
 複数部品

絞り込み条件を選択

年月日
 指定しない
 出願日
 登録日
 公報発行日
 例) 20140101 から 例) 20150101

意匠に係る物品
 例) 携帯 情報 AND

意匠分類
 日本意匠分類 (特許庁HP)
 例) H76? H772? AND

ご利用になる前に 必ずお読みください

- このツールは、画像意匠分類 (W) が付与された登録意匠の公報と、その公報に掲載された、機器の操作画像等の画像を蓄積しています。
- ソート結果として表示されるサムネイルイメージは、機械的な照合によって入力画像に近いと評価された順に表示されるものであり、意匠法上の「類似」する意匠が必ず上位に表示されるとは限りません。
- このツールに利用者がアップロードした入力画像は、システム内に蓄積されることはありません。

お知らせ

2015年10月05日
新たに、意匠登録第1534183号(09月28日公報発行)までの33件の公報を蓄積しました。

2015年10月01日
サービス提供を開始しました。

アンケート
のお願い

蓄積情報
蓄積している意匠公報の範囲を表示します

J-PlatPat
特許情報プラットフォーム

ガイドライン
ご利用の際の留意事項やお役立ちメモを記載しております。

[プライバシーポリシー](#)
[アンケート](#)

Copyright(c); 2015 JPO and INPIT

◆何をするツールか

⇒蓄積されているイメージ全件を
利用者が入力した画像と形や色が近い順に並べ替える

◆何が蓄積されているか

⇒意匠公報

そのうち、機器の操作画像などの「画像」を含む意匠
(画像意匠分類「W」が付与されたもの)

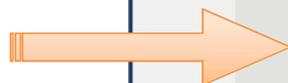
3

Step1 比較調査したい任意の画像を入力します



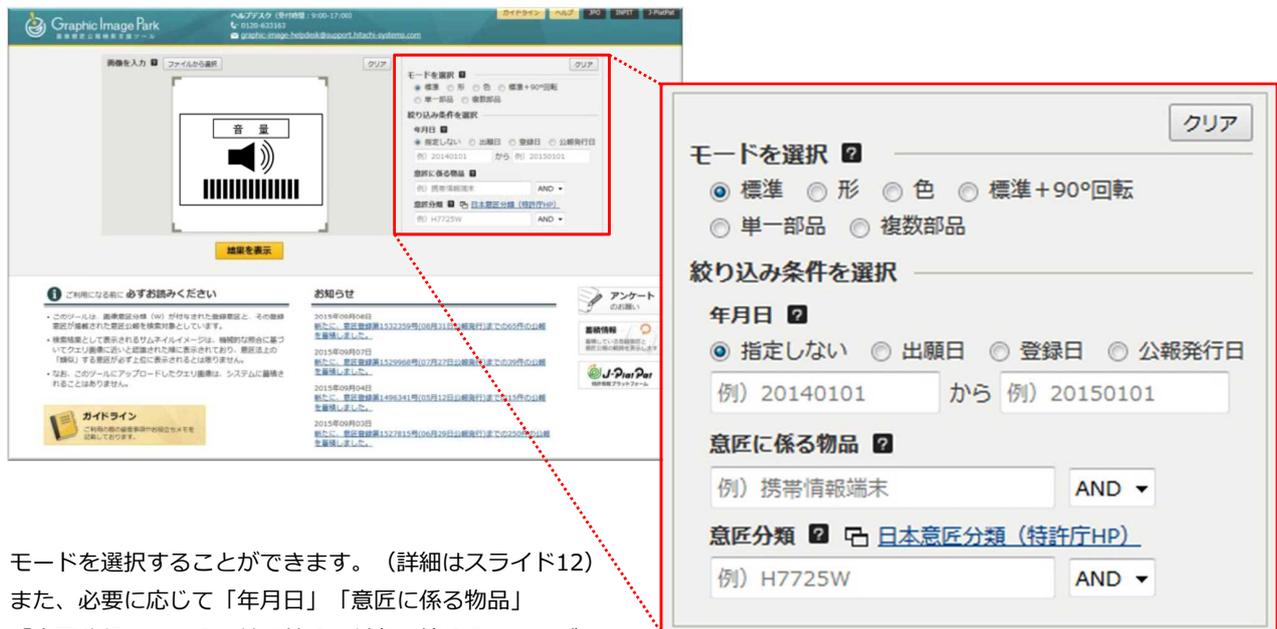
画像ファイルを

- ①「ドラッグ&ドロップ」するか
- ②「ファイルから選択」から
直接選択することにより
入力します。



4

- ◆形や色など、並べ替えの際に優先するモードを選択します
- ◆期間・物品・分類の条件で、並べ替えの対象を絞り込むこともできます



モードを選択することができます。(詳細はスライド12)
 また、必要に応じて「年月日」「意匠に係る物品」
 「意匠分類」により、並べ替えの対象を絞り込むことが
 できます。

Step2 選択したモード、条件での並べ替え結果が表示されます



← B.表示形式の切替

ソート結果一覧画面は、
 ①サムネイルを主とした表示形式
 ②書誌情報を主とした表示形式
 から選択することができます (B)。

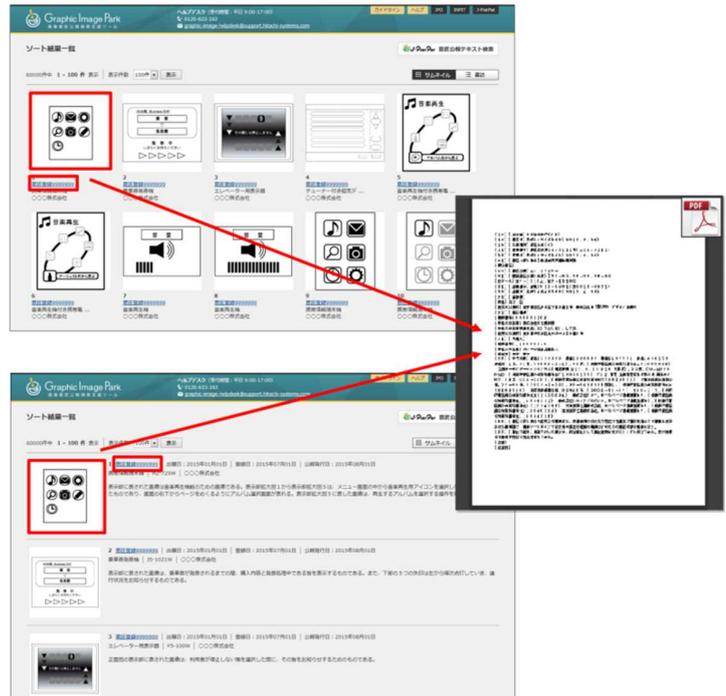
また、1ページあたりの表示件数を
 切り替えることもできます (A)。

ページ末尾の数字又は矢印をクリックして
 ページを移動することができます (C)。

Step3 意匠公報PDFを表示して確認することができます

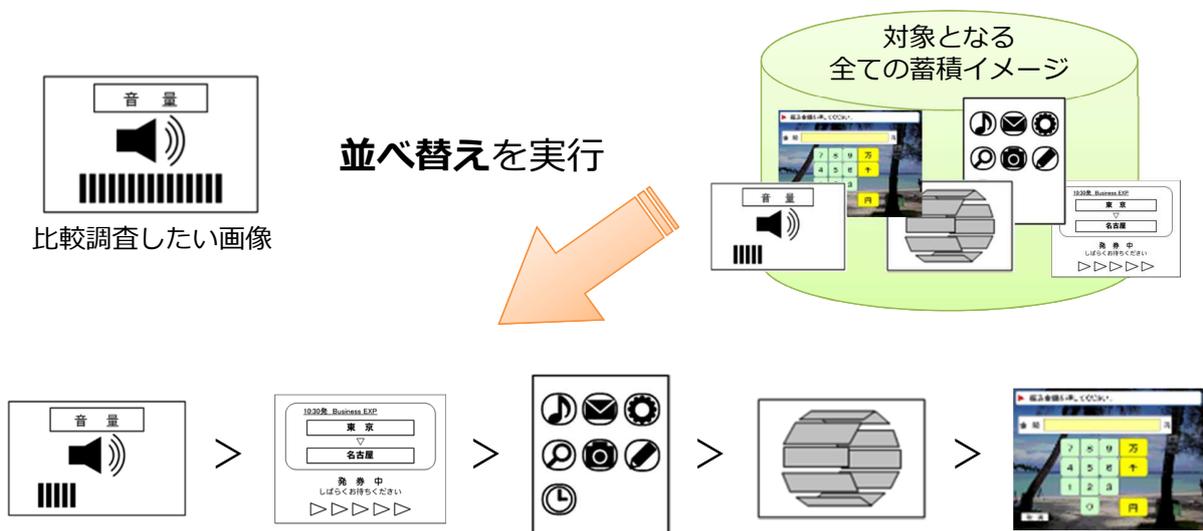
サムネイル又は登録番号をクリックするとそのイメージが掲載されている意匠公報PDFが表示されます。

意匠公報には登録になった意匠の全図と書誌情報が掲載されています。



Q. この支援ツールの「並べ替え（ソート）」機能とは、どのようなものですか？

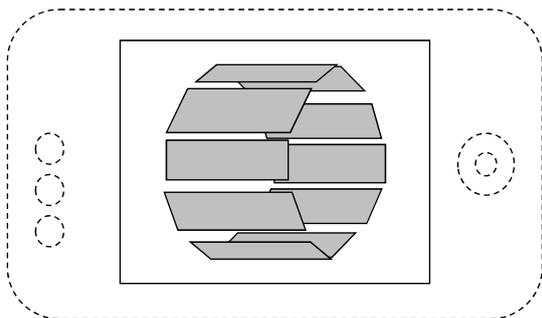
比較調査したい画像を入力し、**並べ替え**を実行すると、入力画像と近い順に、対象となる全ての蓄積イメージを並べ替えます



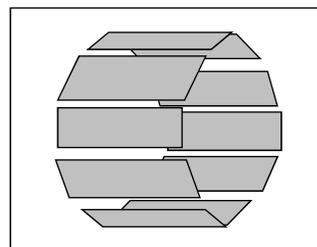
Q. どのようなイメージが蓄積されていますか？

入力画像の比較対象となる蓄積イメージは、
意匠公報に掲載された図のうち、「画像」が表れている箇所です

意匠公報に掲載された図のうち、「画像」が表れている箇所



このような図は比較対象として蓄積していませんが、
意匠公報PDFを表示して確認することができます

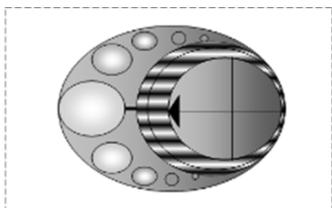


「画像」が表れている箇所の
イメージデータを蓄積しています

9

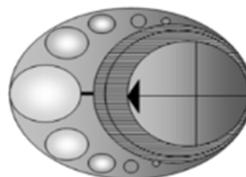
画像表示部の中に意匠登録を受けようとする（部分意匠）が含まれている場合は、
「画像」が表れている箇所として、以下を蓄積しています

蓄積



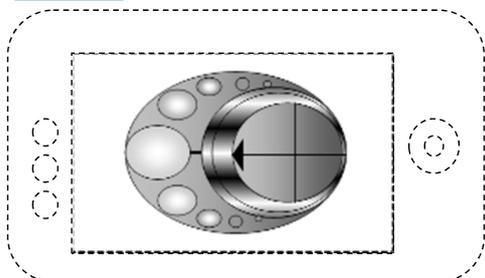
画像表示部全体

蓄積



意匠登録を受けようとする部分

非蓄積

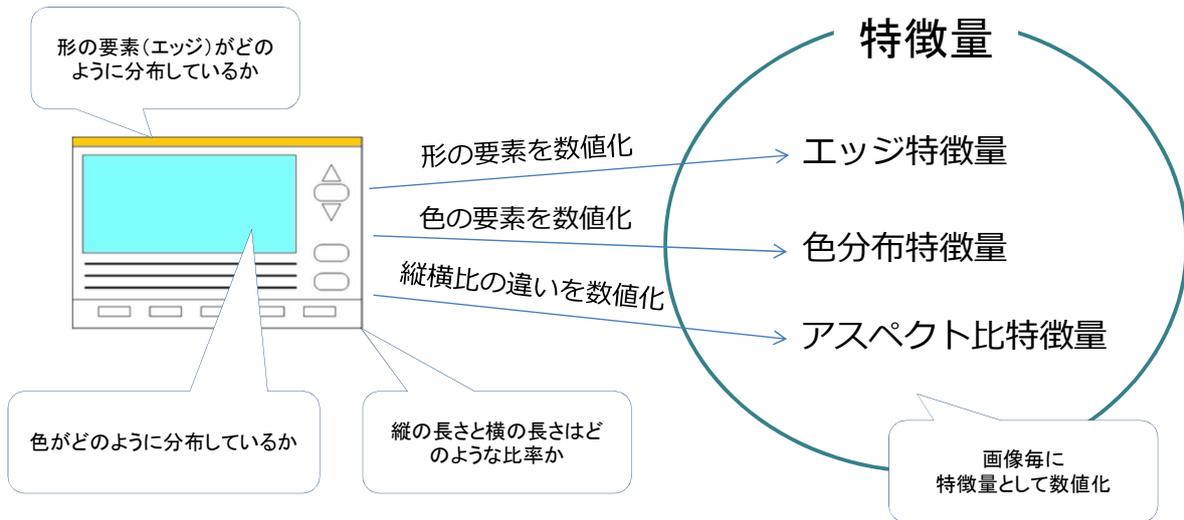


画像表示部の周囲に破線
(筐体の形状)を表した図は
蓄積していません

10

Q. 入力した画像と蓄積イメージをどのように比べるのですか？

入力した画像の、形の要素と色の要素を数値化して
対象となる蓄積イメージの数値と比較し、
その距離が近い順に、蓄積イメージを並べ替えます



Q. それぞれのモードにはどのような特徴がありますか？

概要は以下の表のとおりです

入力例	モード	概要	上位に並ぶ例
	標準	「形」と「色」を総合的にみて、画像同士が近いかどうかを評価します。	
	形	「形」のみに着目して、画像同士が近いかどうかを評価します。「色」が異なる場合でも「形」に近いものが上位に表示されます。	
	色	「色」のみに着目して、画像同士が近いかどうかを評価します。「形」が異なる場合でも「色」に近いものが上位に表示されます。	
	標準+90°	「標準」モードに加え、画像が左右90°回転したものについても上位に表示されます。	
	単一部分	画像のうち特徴的な図形（構成部品）を入力として、その構成部品を含んでいるものが上位に表示されます。	
	複数部品	複数の構成部品を含む画像を入力し、その構成部品が任意の場所に含まれる画像が上位に表示されます。	